

宇陀市

『移住体験施設事業』～まずはお試しから始めよう～



1 事業に関する課題及び基本的な考え方

- ① 移住希望者が検討をする際、移住後のイメージを描け、移住に対する不安が軽減するような体験を実施する。
- ② 人口減少が進む中、移住者の増加を目指し、空き家解消事業や定住促進事業などに取組み、年々成果を上げているが、移住体験施設の有無についての問合せが年々増えており、各地域にそれぞれ体験施設を考えている。
- ③ 移住計画に必要な『居』コミュニティづくり、『職』地元企業をつなぐ、『住』空き家の紹介等に力を入れる。

2 取組の概要

- 宇陀市に移住を希望する方を対象に、様々な体験を通して宇陀市の魅力を感じ定住してもらう。
- 滞在期間は、連続して3日以上7日以内で管理上支障がなければ延長も可。
- 施設使用料は、利用人数に関係なく1棟1泊3,000円で検討中。
- 使用申込は電話、FAX, Mail⇒申請書や必要書類を郵送⇒当日決定通知書を持参し市役所にて詳細説明、使用料の納付⇒現地で鍵の引渡し
- 体験は主に子どもに特化した内容（幼・小・中学校等の交流、農林業体験、ホースセラピー、郷土料理教室など）
- 各種ツアー体験（空き家ツアー、移住者との交流、オーダーメイドツアーなど）

3 苦労した点や今後の課題

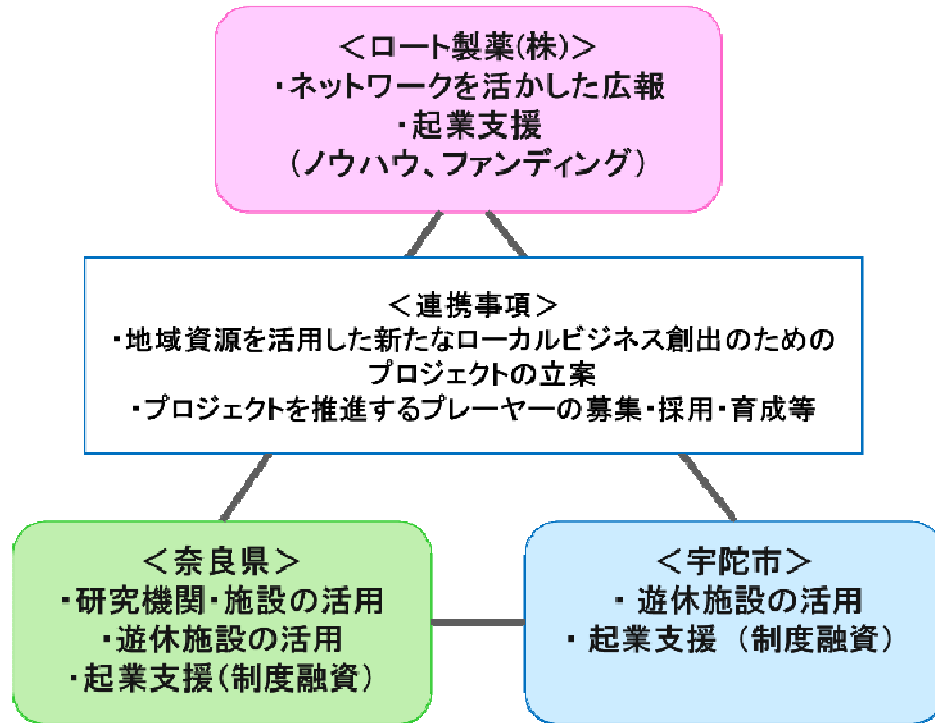
- 物件について、近隣の方から所有者へ声掛けをしていただき、何度か協議を重ね妥協もしながら売買契約まで進めるのに苦労した。
- 各課と連携し、企画内容等を打合せしながら移住体験施設を利用しやすい施設にすることが課題。
- 各メディア（新聞、TV、通信社など）、YouTube、Twitter、Instagramを利用することで、若い子育て世代へ宣伝して行くことが今後の課題。
- 観光だけを目的とした利用にならない工夫は必要。
- 空き家解消対策としてのきっかけにしたい。

詳しくは 宇陀市まちづくり支援課 TEL 0745-82-8000 (代)

宇陀市

ネクストコモンズラボ奥大和事業

NO. 1



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 本市の魅力である農林業や特産品また自然、歴史、文化、景観等の地域資源を数多く有しているが、事業所や従業員ともに減少しており、産業を担う人材の育成・確保が課題。
- ② 本市の地域資源を活かした魅力ある仕事づくりによる新たな雇用の創出により、経済の循環を生み出すことを目指す。

2 取組の概要

- 平成28年12月に、奈良県・宇陀市・ロート製薬(株)の3者による「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」を締結し、官民連携による仕事づくりに向けた取組を推進。
- 市の地域資源を活用した食と農を中心としたプロジェクトを立ち上げ、地域おこし協力隊制度を活用し、起業家を全国から公募し、民間のノウハウを生かして、育成支援。
- 具体的には、「ビール・馬・ジェラート・民宿・パン・食育メディア・竹細工・熟成肉」等のコンテンツで、起業に向けて活動しており、既に3年間の支援期間を終え、宇陀市内で定着し、創業している者も居る。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

【本事業による取組の効果】

- 移住定住の促進（移住者数：10名）
- 空き家空き店舗の活用（活用件数：7件）
（内訳：農家民宿（1件）、奥大和ビール（2件）、ジェラート店（1件）、カフェ&バー（1件）、民宿（1件）、カフェ（1件））
- 市内起業者の増加（起業者数：7名）

【苦労した点・今後の課題】

- 起業に向けたノウハウが行政には乏しいことで苦労した。
- 隊員卒業後の自立に向けた支援の充実が課題。

ネクストコモンズラボ奥大和 フェイスブック
https://m.facebook.com/NCLokuyamato/?locale2=ja_JP

宇陀市

ネクストコモンズラボ奥大和事業

NO. 2



宇陀市

奈良カエデの郷ひらら（ゲストハウス事業、インバウンド事業等）

NO. 1



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① カエデの管理や木造校舎の維持管理などをはじめ、各種事業展開も図り、市内の地域雇用の促進を図っている。
- ② 今後は、若い世代を交えて、1,200種あるカエデの研究や品種開発などを行い、「若者が集う場所、若者が働ける場所」として定住促進や雇用促進につなげたい。

2 施設の概要

- 1935年に建築され、2006年に廃校となった旧宇太小学校を再利用し、校庭には世界のカエデ約1,200品種、3,000本が植栽された日本で唯一のカエデ植物園。
- カフェも併設されており、2019年11月には、木造校舎の教室を改装してゲストハウスをオープン。2020年11月にはテレワークやワーケーションに最適な貸室をオープン。
- 教室レンタルも行っていることから「コスプレの聖地」として人気があり、「SNS映え」や「インスタ映え」を狙った若者が全国から訪れる。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

【施設利用者数】※（ ）はインバウンド

令和元年度 約40,000人（約800人）

【ゲストハウス宿泊者数】※（ ）はインバウンド

令和元年度 約230人（約60人）

【国別（インバウンド）】

フランス、オランダ、アメリカ、インドネシア、カナダ、タイ、ベトナム、中国

各種体験メニューが豊富であるため、インバウンドに人気がある。体験メニューは、居合抜き、着物の着付け、習字。



詳しくは 奈良カエデの郷ひららホームページ
<http://udakaedenosato.main.jp/index.html>

宇陀市

奈良カエデの郷ひらら（ゲストハウス事業、インバウンド事業等）

NO. 2



体験教室



コスプレイベント



テレワーク



ゲストハウス